

令和4年度 学校関係者評価

<建学の精神>
『誠実・勤勉・努力を基本理念とする』
<学校の教育目標>
社会から必要とされ、信頼される人間を育てる。そのために次の3つを実践する。
<今年度の重要課題>
・学習や資格取得を通じて、人間性を磨き続けていく ・退学者を減らすために、科・コースの枠を超えて学生のサポートをしていく

評価項目	ご意見	改善事項
1 教育理念・目的 人材育成像	学生に自分を高めたいという意識・挑戦する気持ちを持たせるよう、工夫を重ねて欲しい。 今までのスタイルを崩さず頑張っていて欲しい。	コロナ禍で止まってしまっていた、社会や業界のニーズを把握する仕組みを再開すると共に、ニーズを拾い上げることに敏感になる。
2 学校運営	学校運営に関するアンケート(保護者・学生)で、それぞれの関心の高さをどう評価するかに工夫が必要かもしれない。1年に1回のアンケートにするのか、項目数を減らして年に何回も行うかなど、検討してみてはどうか。	保護者や学生への連絡・コミュニケーション手段として、Webを利用した連絡システムや紙媒体、電話等いろいろあるが、それぞれを効果的に活用する。アンケートに関しても、回答率が上がるよう方法や時期を検討する。
3 教育活動	ぶれない教育理念があるので、それを日々の授業・活動の中で実践していくことが大切。	令和4年度より2年制学科を再編成したが、令和6年度には公務員専攻科を公務員総合科とし、学生と社会のそれぞれのニーズに応えられるよう、カリキュラムの見直しをする。
4 学修成果	退学者を出さないよう努めていると思うが、今後も頑張っていて欲しい。	評価シートを有効に使いながら「職員全員で学生の面倒を見る」をさらに進める。学修意欲が亡くなっても、その様子を見せずにいきなりやめたい(退学)という学生が出ないように、職員のアンテナを高める。
5 学生支援	人との付き合い方や未来への考え方が複雑化している。 新入社員の中には、怒られないとモチベーションが上がらない、仕事意欲がわからないという意見もある。子どもや学生の意識が変わっている。	学生や保護者、社会の様子やニーズを把握することに職員が意識を高く持ち、支える体制を整える。 年齢的に学生に近い卒業生に学校へ来てもらい、在校生に向けて話す機会を増やす。

評価項目	ご意見	改善事項
6 教育環境	計画的に修繕・補修をされるようなので、良い教育環境になるよう進めてほしい。	令和5年度はトイレ設備の更新・改修やWifi装置導入等を予定。
7 学生の 受入れ募集	少子化や受入大学拡充もあり、学生数が減っているようだが、今までのスタイルを崩さず、熱意を伝えて学生を増やして欲しい。	高校生の就職が好調であることや、公務員希望者が減っていることで厳しい面もあるが、新しい公務員ガイダンスの開催やオープンキャンパスの内容見直し等を通じて、当校の魅力や特色をしっかりと伝える。
8 財 務	中・長期的な計画の基に積み立て等もされているようなので、引き続き安定的に経営できるよう期待する。	経費節減のため、教室や校舎の使い方を見直す。 長期にわたって据え置いた授業料・設備負担金について令和6年度より増額を予定。
9 法令等の遵守	個人情報の保護については、ロールプレイングを取り入れるなどして、習慣化することが大切。	慣れから起こりがちな、離席の際に机上やディスプレイに個人の重要情報が見られる状態になっていることがないよう、具体的にどうすれば良いのかを提示し、職員各自の意識を高める。
10 社会貢献 地域貢献	商店街では空き店舗の利用や創業支援を積極的に行っているので、街のビジョン・在り方について提言をして欲しい。 これからの街のコンセプト作りをぜひ提案して欲しい。	商店街や上田市などと情報交換、共同作業、イベントや活動への参画・参加を通して、地域の中へ出での活動をを増やしていく。

第2回学校関係者評価委員会 実施日時: 令和4年3月22日(水) 10:00～11:15

学校関係者評価委員(50音順)

河合 良則	エムケイ商事株式会社 カワイ薬局 代表取締役	
佐藤 正	丸堀自治会 副自治会長	(元長野県労働金庫 業務役)
田子 拓也	住友林業株式会社 住宅・建築事業本部 信州支店 営業グループ 上田店 店長	

学校職員(オブザーバー)

比田井 美恵	学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 校長
比田井 和孝	学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 副校長
山極 学	学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 教頭
高見澤 なが子	学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 事務主任